

## 参考人意見概要

### 大阪湾の現状認識

- ・かつて大阪湾は豊かな漁場であったが、今は不漁である。
- ・ベイエリア計画の埋立てにより水が流れにくくなっている。
- ・下水処理場が海に直接栄養がない水を流すことが原因で、岸和田市より南側の海は栄養がない。岸和田市より北は深堀で水が動かず、栄養が有りすぎて赤潮になっている。
- ・透明度は増したが貧酸素・青潮が解消していない。

### 事業場対策

- ・6次にわたる総量規制で、水質改善に前向きに努力してきた。第7次規制は、総合的見地から事業者にも過度の負担を与えないようお願いしたい。

### 生活排水関連

- ・市民は、日常生活と海のつながりに気づいていない。流してしまえばどこにいつているのか分からない。

### 大阪湾の再生方策

- ・水質改善のためには、浅場や藻場の再生、栄養塩の循環系の構築、海とのふれあいの場の再生などが必要である。
- ・総量規制は方法論の一つであり、目標とする海の議論が必要
- ・海を学ぶ場が必要だが、少ない。南の方はまだあるが、堺の方にはない。

### その他

- ・大阪湾に流入する流域全体の環境の委員会の創設を

以上